

警 防 編 (救助)

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

救助出動件数 69件

救 助 人 員 29人

救助業務の概要

令和4年中における救助出動件数は、前年と比べ（約8%）増加している。この内、救助活動を行ったのは26件、救助した人員は29人となっており、昨年と比べると救助出動件数は増加しているものの、救助活動や救助人員についてはそれぞれ減少している。救助活動の内訳としては、交通事故、その他の事故、水難事故、機械による事故となっており、交通事故での救助活動が多い傾向であった。

事故種別で見ると、出動件数では交通事故が全出動件数の約50%と最も多く、その他の事故、水難事故、機械による事故となっている。

平成30年以前、救助出動件数は年単位で100件を超えることが多かったことに対し、新型コロナウイルス感染症が爆発的に流行した令和元年以降は減少しその後、横ばい傾向にある。令和4年においても同件数から同感染症の影響がまだまだ色濃く残っており、人の流れが少ないことが考えられる。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」へ引き下げられ、様々な規制緩和が国等から発表されていることから、人流の活発化が予測できるとともに、救急出動を含めた救助出動が増加することも予測される。

また令和4年においては、交通事故とともに、例年どおり登山中の山岳での事案が多く見られた。これは、同感染症の影響により人の流れが少なくなっているものの、登山者については、昨今のアウトドアブームもあり年々増加傾向となっていることが考えられる。

九重連山を管轄する当本部では、山岳での救急救助事案について更に安全かつ迅速な対応が求められることから、本年7月に山岳救助隊を発足させ、他機関との連携の充実及び強化し、備えております。

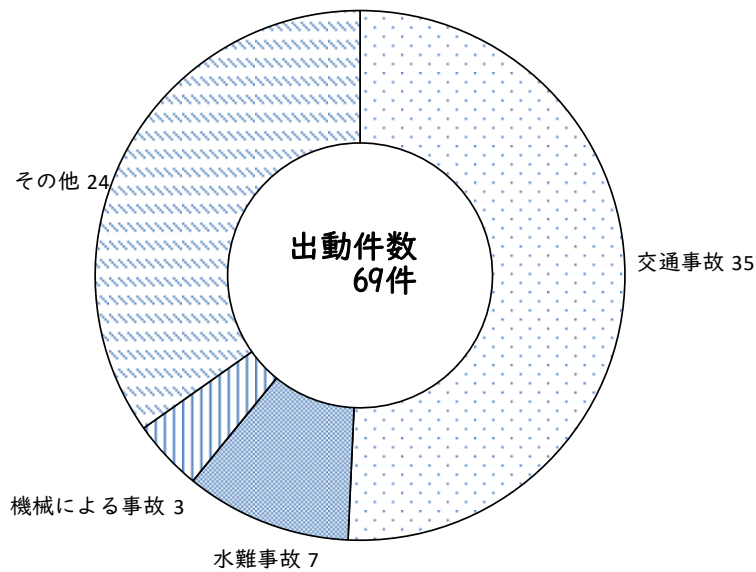


大分県防災航空隊との山岳救助合同訓練

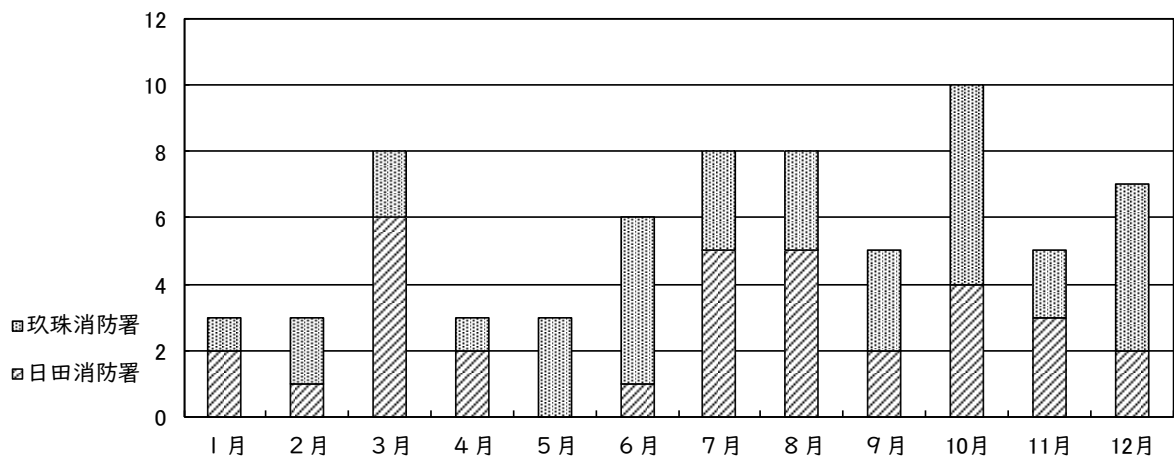
事故種別救助出動及び活動状況

	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械によ る事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他	計
出動件数	0	35	7	0	3	0	0	0	24	69
出動人員	0	315	68	0	21	0	0	0	180	584
活動件数	0	10	7	0	1	0	0	0	8	26
活動人員	0	97	68	0	7	0	0	0	57	229
救助人員	0	12	8	0	1	0	0	0	8	29

事故種別救助出動状況



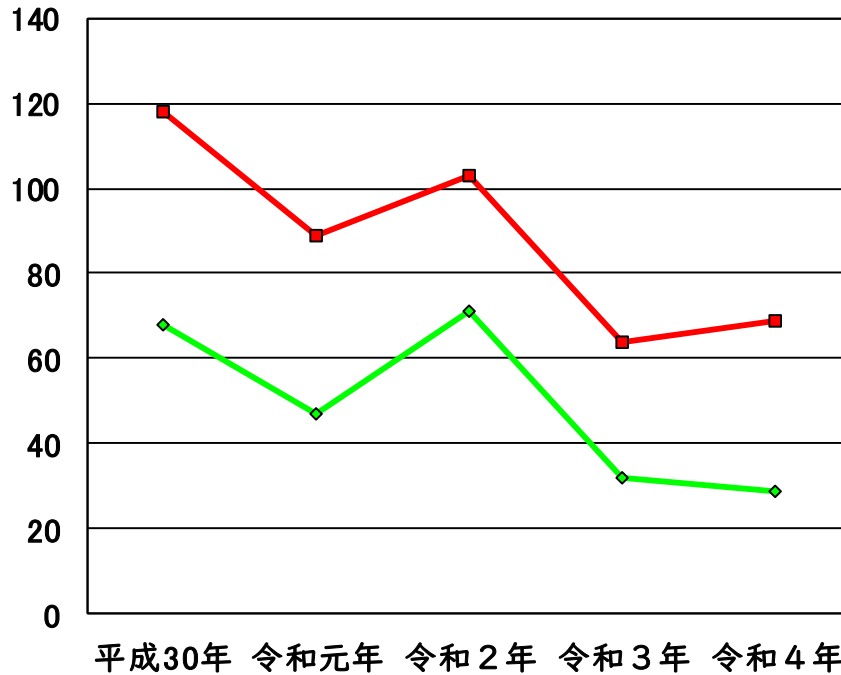
月別及び署別出動件数



	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出動件数	69	3	3	8	3	3	6	8	8	5	10	5	7
日田消防署	33	2	1	6	2	0	1	5	5	2	4	3	2
玖珠消防署	36	1	2	2	1	3	5	3	3	3	6	2	5

5 か年救助出動件数の推移

■ 出動…
◆ 救助…



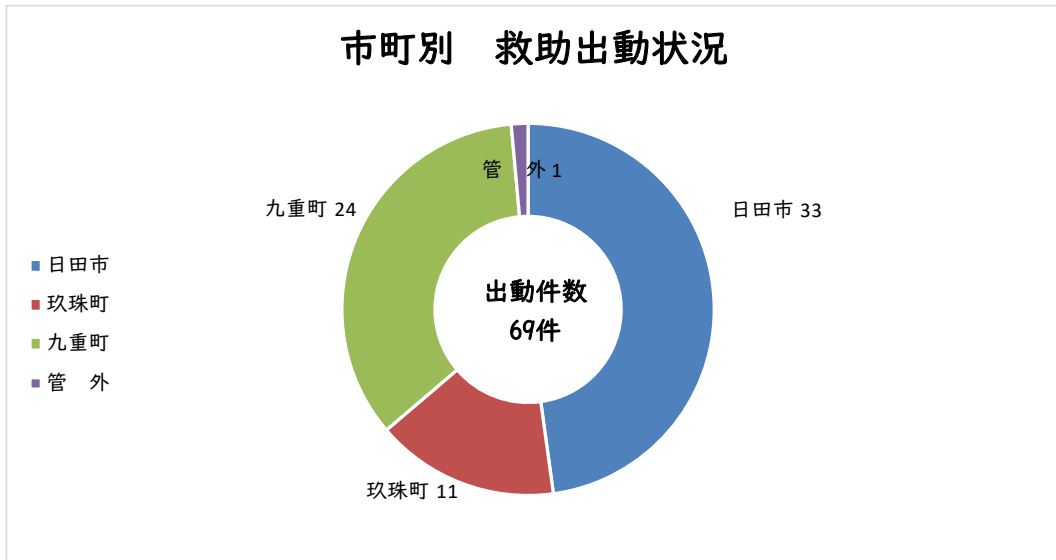
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出動件数	118	89	103	64	69
救助人員	68	47	71	32	29

事故種別発生場所別出動件数

	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械によ る事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他	計
住 居									3	3
その他の屋内										
高速自動車道		3								3
その他の道路		28			1					29
内 水 面		1	7						3	11
外 水 面										
山 岳									11	11
その他の屋外		3			2				7	12
地 下										
そ の 他										
合 計		35	7		3				24	69

市町別出動件数

	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械によ る事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他	計
日田市		21	3						9	33
玖珠町		7	3		1					11
九重町		6	1		2				15	24
管 外		1								1
計	0	35	7	0	3	0	0	0	24	69



防災ヘリコプター要請件数

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

	火 災	救 助	捜 索	計
日田市	2	2		4
玖珠町	2			2
九重町	1	7	1	9
管轄外				0
計	5	9	1	15